

経営比較分析表（平成29年度決算）

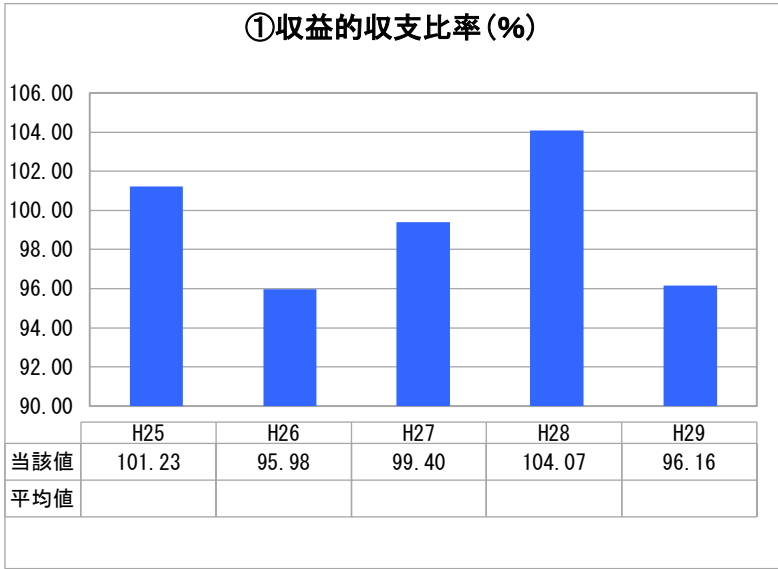
千葉県 横芝光町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.98	100.00	3,780

人口（人）	面積（km ² ）	人口密度（人/km ² ）
24,217	67.01	361.39
処理区域内人口（人）	処理区域面積（km ² ）	処理区域内人口密度（人/km ² ）
718	0.39	1,841.03

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



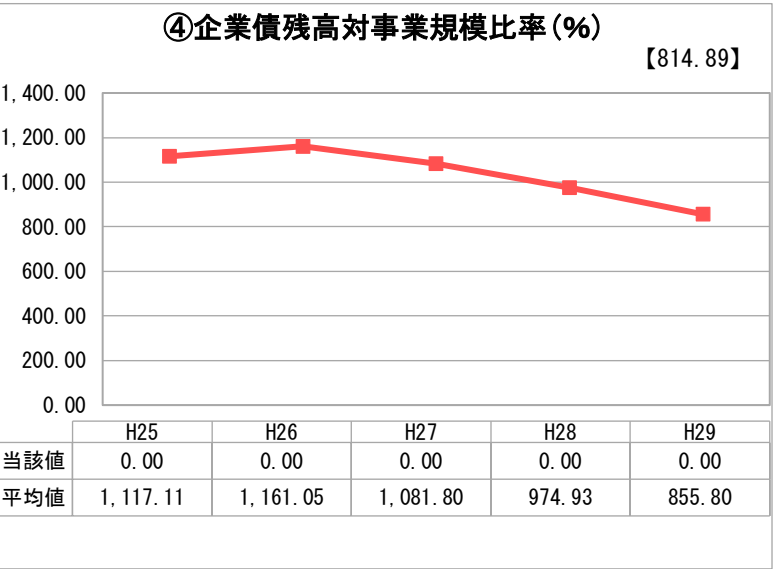
「単年度の収支」



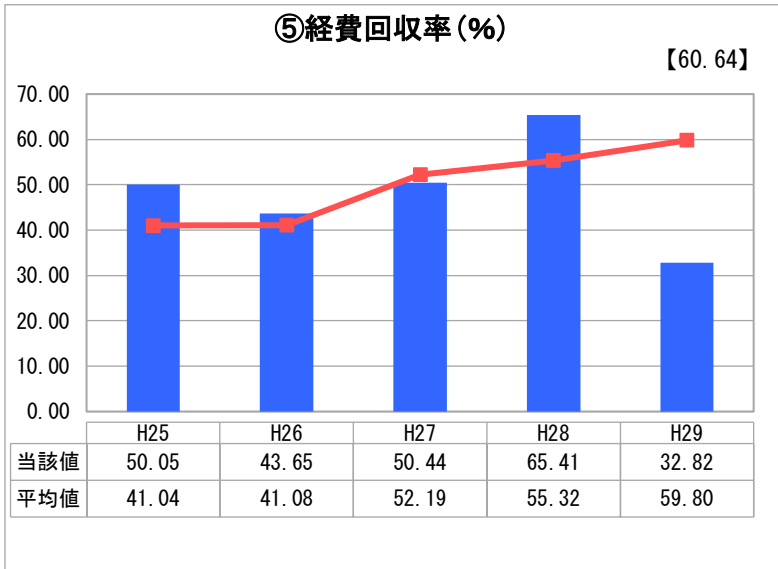
「累積欠損」



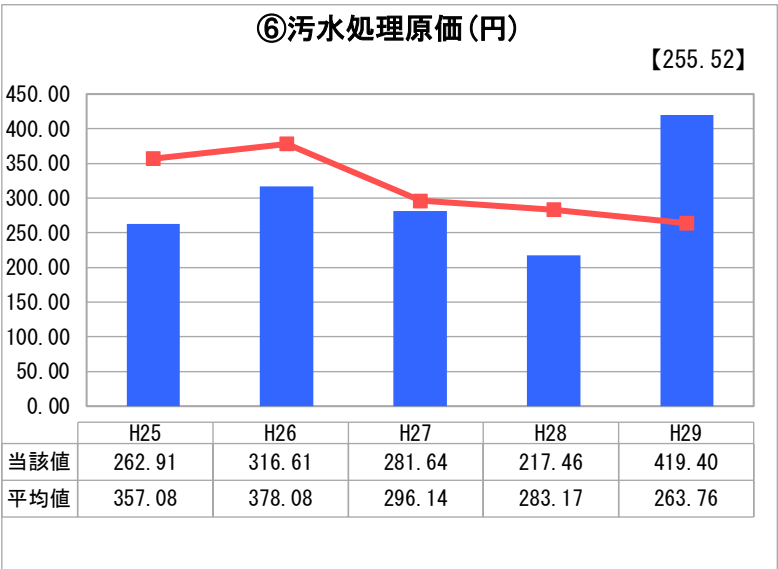
「支払能力」



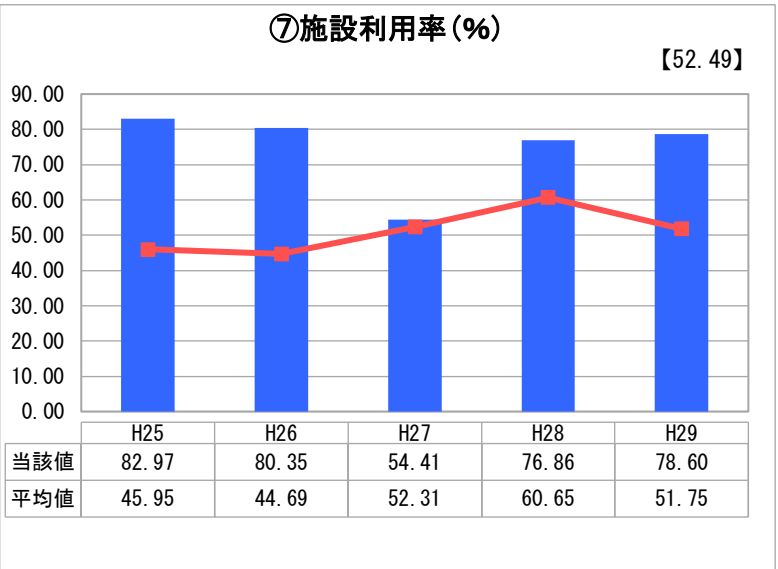
「債務残高」



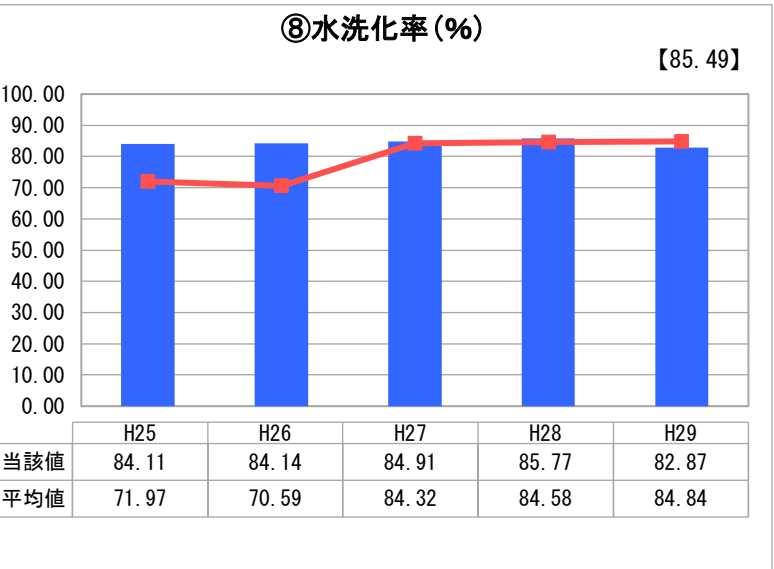
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

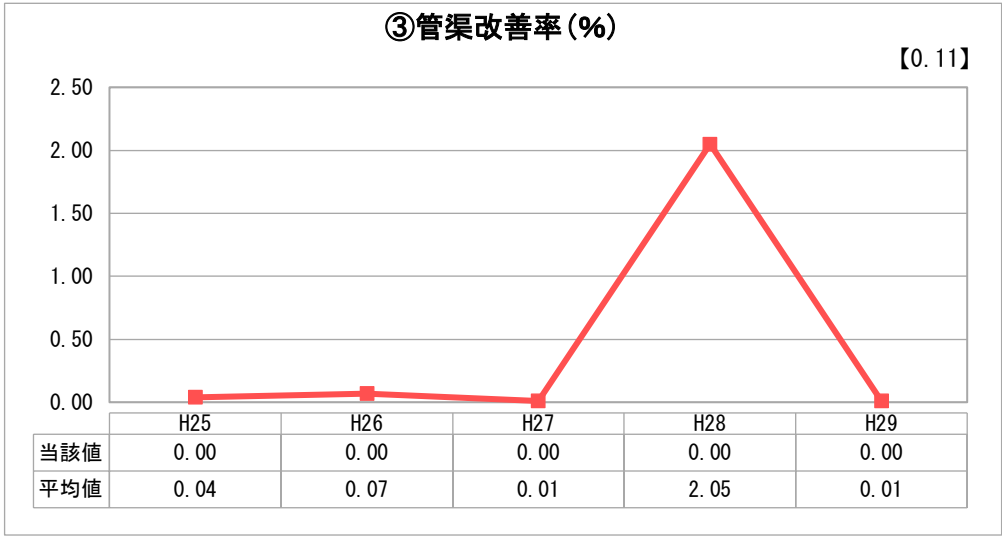
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、H29は96.16%で100%を下回った。要因は、維持管理費（修繕費）の増加によるものである。

④企業債残高対事業規模比率は、H25からH29まで0.00%となっているが、これは、一般会計からの繰入金で賄っているためである。

⑤経費回収率は、H29に実施した機能診断・最適整備構想策定の委託料増により経費が掛かり、減少した。

⑥汚水処理原価は、H29に実施した機能診断・最適整備構想策定の委託料増により増加した。

⑦施設利用率は、類似団体に比べ高い稼働率であり、適正に稼働している。

⑧水洗化率は、類似団対と比べ下回った。更なる継続増加に取り組む必要がある。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率は、H25からH29まで0.00%である。これは改善を要する管渠がなかったため。

しかしながら今後管渠の老朽化が進み、更新が必要となることから、H29に実施した機能診断・最適整備構想に基づき、中長期的な事業計画を策定し、健全な経営を図る。

全体総括

直接の維持管理費については、概ね使用料で賄うことができるが、人件費、公債費を含めると財源不足となるため、一般会計からの負担を必要としている。

また今後、施設・設備等の老朽化が進んでいくことから、H29に実施した機能診断・最適整備構想に基づき、中長期的な事業計画を策定し、健全な経営を図る。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。